

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	RISE		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 1日		R8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	27世帯	(回答者数) 23世帯
○従業者評価実施期間	R7年 12月 1日		R7年 12月 6日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6人	(回答者数) 6人
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	お友達との関わり、コミュニケーションの展開、他者意識の向上を小集団で培っていくこと。	常に子どもたちが主体的に考え、選択し、達成できる事を目的とし、取り組み・遊びを工夫している。また、マンネリ化を防ぐためにも情報収集を重ね、他事業所支援員からの助言を頂ける研修を実施している。	取り組み方のバリエーションを増やすために、研修に参加する。
2	多職種支援者の視点から、ひとりのこどもについて多角度から考えた評価と支援を提供して行けること。	毎日の支援後の振り返りを充分に行い、次の支援へと活かす取り組みを欠かさない。	支援者が自分の職種に満足せずに、更に広い視点・視覚で捉えられる様に学びを深める。また、その機会を提供する。
3	保護者様とお会いしてお話する機会を多く設定して、安心して支援を受けて頂けるようにしていること。	定期的に行われるモニタリングの間に、面談を設定してお話出来る機会を多く設定している。	親子参加型イベントや、参観などを企画し、より支援を理解してもらえる機会を提供する。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	環境設定的に、年齢や課題に応じての個別支援が達成しづらい所。	支援の捉え方、環境の展開、使い方に変化を考え難い点。	必要な支援の型にとらわれず、色々な挑戦を重ねる。また、その際には十分な安全配慮を怠らない。
2	始良市の端に位置することで、支援に対応する送迎に時間を要すること。	有効な必要な支援時間を確保しなければいけない。また、送迎時間が長くなれば長くなるだけ、事故等のリスクが高まること。	安全目立つ出来るだけ短時間のルートを確認する。送迎時間に余裕を持って送迎任務にあたる。子どもたちが安全にチャイルドシートを使えるように、シートベルトの正しい着用方法を学ぶ。子どもたちにもシートベルト・チャイルドシートの必要性を指導する。
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 RISE

公表日 R8年 2月23日

利用児童数 27名

回収数 23名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	23				大きな窓から暖かい光が沢山入る素敵な空間という印象です。	大きな窓から差し込む日差しを有効に浴びて、身体面も整えています。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	19			4			
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	22				1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23						
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	23						
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	23						
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23					毎日丁寧な支援計画を立てています。	保護者様が安心して支援を受けて頂けるように継続していきます。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	21				2	十分支援してもらっていると思うが、どれのことかは良く分かっていません。サポートマップや計画に総じて支援内容が設定してある。また、実際に支援してもらっている。	保護者様が安心して支援を受けて頂けるように、目次ガイドライン内容が理解して頂けるように継続していきます。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	22				1		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	21				2		
	11 保育所や認定子ども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	14	1	2	6			
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23				毎日丁寧な説明をさせていただきます。	保護者様が安心して支援を受けて頂けるように継続していきます。	
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23						
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	17		1	5	研修会については分かりません。気が付いていないかもしれません。	保護者様が興味を持って参加して頂ける機会を設けていきます。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	23				常に活動報告を含め、気づきや気になる事を丁寧に共有されています。	今後も共通理解が出来る様に、言葉使いにも気を付けてお伝えしていきます。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	23				気になる事や心配な事を相談させて頂いています。	お忙しい保護者様の事も考慮して、面談の機会を作ります。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	21				2	こちら側が忙しくてあまり話す機会を作っていない。	お伝えする時には言葉使いや言葉の選択に気を配ってお話します。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	3	1	11		一人っ子なので分からない。	定期的に保護者会の開催を計画します。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1	1	LINEでの連絡等、とても丁寧に分かり易い時と返事が帰って来ない時がある。	ニーズに迅速に対応していくように、且つ漏れることがないように仕組み作りを行います。	
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	19		1	3		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	23					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15		1	7		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13		1	9	計画されているのは知っているが、実施されているかどうかは分からない。	訓練の様子をSNSで発信して、広く知ってもらえるようにします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	21			2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19			4	その状況になった事がない為。	このような事態にならないことを最優先に活動します。また、保護者様への連絡について今一度説明してい
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	23				子どもが先生の話をよくしてくれます。安心して通えているのを感じます。	これからも楽しく成長出来る機会を多く提供していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	1			活動を楽しみに準備も自分です。支援の日を喜ぶ日と、嫌だなという時がある。	これからも楽しく成長出来る機会を多く提供していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	23				就学に向けた支援も多く取り入れて下さり本人も入学も楽しみにしています。	これからもご家族で楽しく足を運びたくなる場所を目指して、支援・イベント・地域との連携を強化してい

## 公表 業所における自己評価結果

事業所名	RISE					公表日	R8年 2月23日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		危ないところをマットなどを使い工夫している。	使用が重なり劣化しそうなところを中心に、安全点検を行うことを継続していきます。			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6			楽しく支援を展開できる様に、支援者自身が心身共に健全に保てるように努めます。			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		必要時に話し合いをして試し続けている。広い空間の為、パーティションを使用して空間を仕切る等の工夫をしている。	環境設定・変更を積極的に行っていきます。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6						
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6						
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6						
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6						
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6						
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	事業所内交換研修を行っている。過去にあったと思われます。	ご家族様や相談支援員様、他事業所の支援員をお招きし、客観的な評価を頂き、業務改善に繋がります。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6						
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6						
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	1	作成が期日に間に合うように作成時間を確保して進めている。	期日前に課題検討を行い、計画立案に努めます。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6						
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	1	計画の内容を意識しています。	日々の支援にも計画が反映し発展するように支援を展開します。			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6						
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6						
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6						

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1		
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	4	会社内での事業所間で連携したイベント活動を行っています。交流の検討して行かなければならない。	支援利用児の利用している児童クラブさんとの交流を企画していきます。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6				
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	できていません。	関係病院や行政、センター主催のペアトレを積極的にご案内していきます。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6			

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6		兄弟同士の交流は検討して行かなければならない。	親子で参加型のイベントを企画し、保護者様同士が関われる機会を設けていきます。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6			
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	予防接種等も今後確認していく必要がある	災害時に備えて常時内服薬を管理することを継続していきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6				